

(別紙2(2))

事業所名 グループホーム いきがい

作成日: 令和 8年 3月 21日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	以前から、どの職員も理解に乏しいが、実践で必要となる場面がなく、後回しになっている。	実践で必要とならなくても、基礎知識を習得し、いざとなれば対応できるよう準備し、ご家族、ご利用者の方々が安心できるようにしたい。	年間を通じ、配布した資料を少しずつ理解を深めて、必要時の準備をしていく。今年度も継続して取り組んで行く。	12ヶ月
2	26	介護支援専門員が一人で計画し書類を作成しているが現場で共有できていない。	職員全員が計画作成の協力と実施を行う。	以前から継続的に取り組んでいるが、今年度も継続的に学習しながら経験と積んでいく。	12ヶ月
3	33	ご利用者の重度化や終末期に向けた対応について、しっかりとした決まりはなく、相談毎に対応している。	ご家族やご利用者の皆様に、分かりやすい書式での資料が準備出来、それを基にそれぞれのケースに対応していきたい。	当事業所だけでの判断は困難で、法人全体で相談し制度化していく。	12ヶ月
4	35	災害対策として備蓄の準備や職員の知識の充実に努力はしているが、発展途上となっている。	どんな時でも、正しい対応が迅速に実施できるようにしたい。	現在の取り組みについて、学習と訓練を法人が中心となり継続的に実施する。	12ヶ月
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。